



吉川市立吉川中学校
2020年4月開校

春夏秋冬

「考える 蓄える 伝える生徒」

令和7年度 12月号



生徒数	12月1日現在
1年生	279名
2年生	252名
3年生	269名
合計	800名

〒342-0038
住所 吉川市美南 5-17-1
電話 048-984-7565

面接練習を通して

校長 伴野 忠

この時期になると学校は3年生の受験期に向けた雰囲気変わってきます。1、2年生も3年生の雰囲気に影響され近い将来の進路選択が気になり始めると同時に進級を徐々に意識し始めます。冬の始まりの少し冷たい空気と子供たちの少し張りつめた緊張感が学校を満たし始めます。

そのような中、毎年行われ私が特に楽しみにしているのが3年生の校長面接練習です。今年も11月から昼休みや放課後を活用し5人程度の集団面接の形で実施しています。

集会等で子供たちに話をする機会はたくさんあるのですが、私が直接子供たちと深く対話する機会はそんなに多くありません。今年の3年生が何を考え、どんな3年間を送り、どんな夢を抱いているか、そんなことを直に確認できるのがこの面接練習。私にとってとても楽しく貴重な時間です。

まだ全員は終わっていないのですが、毎年感じることは吉川中の生徒は頭の回転がとても速く、伝える力があり、気持ちの優しい生徒が多いことです。学校教育目標「考える 蓄える 伝える 生徒」の具現化を実感することができるのも大変嬉しく思います。

今年驚いたことの1つに、毎年「尊敬する人を教えてください」という質問をしているのですが、お父さん方には大変申し訳ないのですが、「母です」という回答が圧倒的に多い中で、ただ今年は「どうしてですか」と切り返すと、「母は仕事で疲れているのに、私のためにご飯を作ってくれたり、・・・」と目に涙をたくさん浮かべ、声を震わせながら語ってくれた生徒が複数いたことです。聞いている私も胸が熱くなりました。愛情いっぱい育てられ、それを当たり前ではなく感謝の気持ちをたくさん抱いていることがわかります。「たくさん親孝行しないとね」と伝えると「はい！」と笑顔いっぱいに答えてくれました。

厳しい質問をするときもあります。「どうしてその高校を志望するのですか」と問うと、「学力（偏差値）にあっているからです」と答えます。「同じくらいの学力の高校は他にもあるけど、どうしてその高校でなくてはならないのですか」と切り返すと「・・・」。

高校を主体的に選びその学校に憧れと入学後は楽しく学校生活を送り且つ活躍するイメージを持ってもらいたいためにこのように質問します。どうしてもその高校に入りたいという熱い思いが面接官に伝わるようにしてほしいという願いがこの質問にあります。

面接練習後の振り返りのときに、「面接官はどのくらいその高校（就職試験であればその会社）に入りたいかを必ず確認します。熱意や情熱が一番重要です。」と生徒たちに伝えます。

私はこの面接練習を通して子供たちに直接大事なことを伝えることのできる貴重な機会として捉え、子供たちの考え方や生き方を深く考えさせるような質問もあえて行います。この面接練習をきっかけに考え方や生き方を深く問い直してほしいと思っているからです。

さあ、3年生。ここからが勝負です。悔いのないよう真正面から進路選択に向き合ってください。

吉中生の活躍



この他の記事は毎日更新の「吉川中学校HP」をご覧ください。



11月1日(土)
合唱祭を開催しました。多くの保護者、地域の方々にご来校いただき、ありがとうございました。

【 12月 の主な予定 】

- 4日(木) 校外学習(1年)
- 11日(木) 特別支援学級小中交流会
- 15日(月) 専門委員会
- 17日(水) 保護者会(1年)
- 18日(木) 保護者会(2年)
- 19日(金) 給食終了 ふれあいデー
- 22日(月) 3時間授業
- 23日(火) 3時間授業 大掃除
- 24日(水) 2学期終業式
- 25日(木) 成績通知書・調査書等対応(3年)
- 25日(木)～1月6日(火) 冬季休業日



【 1月 の主な予定 】

- 7日(水) 3学期始業式
- 8日(木) 発育測定
- 9日(金) 給食開始 避難訓練
- 15日(木) 専門委員会
- 21日(水) 東京班別行動(2年) ふれあいデー
- 21日(水)・22日(木)
県立特別支援学校高等部入学選考
- 22日(木)・23日(金) 私立高校入試中心日
- 27日(火)～2月10日(火)
出願入力期間(インターネットを活用した出願)
- 30日(金) 県立特別支援学校入学許可候補者発表